




今回は、中学部の「自立活動」の授業の様子を紹介します。

活動名	みんなで動いてみよう	
子どもたちの様子	<p>①言葉による指示のみで理解することが難しい。 ②集団全体に対する指示を聞いて行動することが難しい。 ③指さしや身振りを理解して活動することができる。 ④単語による指示を理解して行動できることがある。</p>	
ねらい	集団の場面で教師に注目し、全体に対する指示を聞いて行動をすることができる。	
授業の展開	<p>① 目標の確認 予定をきいて、本時の目標を確認する。</p> <p>② まねっこ遊び 写真①のように教師と向き合い、「まねしてね」の歌に合わせて簡単な動作を模倣する。</p> <p>③ ヨガ 写真②のように教師の動きを模倣する。</p> <p>④ 模倣歩き 写真③のように少し離れた位置からの教師の合図や指示をきいて動物の動きを模倣する。</p> <p>⑤ 振り返り 活動の評価をきく。</p>	<p>写真①</p>  <p>写真②</p>  <p>写真③</p> 
指導のポイント	<p>【指導上の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まねっこ遊びやヨガでは、始めは片手距離の位置から指示を出し、慣れてきたら少しずつ離れた位置から言葉掛けをして注目を促すようにした。 ・模倣歩きでは①「立っている教師の指示を聞く」②「動く教師の指示を聞く」の順に、段階的にアプローチをした。 ・指示に気付けない場面では、手をたたいたり大きな動作で示したりして自分で気付くことができるように促した。 <p>【教材の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい動きや行動ができたときには、ホワイトボードの評価シートにマグネットをはり、達成感や自信がもてるように配慮した。 	
授業を振り返って	<p>授業を積み重ねるなかで、集団の中でも教師の指示を理解して行動したり手本に注目したりする場面が少しずつ増えてきた。また、日常生活でも話し掛けられた人や教師の指さしに視線を向ける様子が以前より見られている。適切な行動ができたときに教師に褒められたりマグネットをはったりすることが、取り組んでみようという前向きな気持ちへとつながっているように感じる。</p>	